

大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員会 令和3年度第2回会議 会議録

令和4年3月26日、大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員会 令和3年度第2回会議を大垣市情報工房2階・会議室4において開いた。

1 議題

- (1) 令和3年度大垣市市民活動助成事業（初めの一步助成）の事業報告について
- (2) 令和3年度大垣市市民活動助成事業の事業報告について
- (3) 令和3年度大垣市市民提案事業の事業報告について
- (4) 令和3年度大垣市学生提案事業の事業報告について
- (5) 令和3年度市民活動団体設立助成実績について

2 委員の出欠

出席委員（敬称略）

委員長	菊本 舞	副委員長	吉田 茂樹
委員	菅田 文子	委員	杉田 邦隆
委員	市来 圭	委員	宮上 稔
委員	新田 米子	委員	秋山 聖子

欠席委員（敬称略）

委員	蒲田 晃二	委員	細井 陽子
----	-------	----	-------

3 事務局出席者

市民活動部長	杉田 昭子
市民活動推進課長	小林 晋
市民活動推進課主幹	國枝 義典
市民活動推進課主査	後藤 実穂子
市民活動推進課主任	中村 英敏

4 出席団体

大垣市視聴覚教育連絡協議会

konoteーコノテー

多良歴史回廊案内の会

musicA

国際音楽交流会Musica Con Tutti
ゆっくり歩む音楽サークル奏音〜カノン〜
特定非営利活動法人F C ヴィオーラ
特定非営利活動法人あすねこ
ふるさとから教育を語る会
O S アンサンブル風
特定非営利活動法人クローバ西濃支部
九里半歴史文化回廊
多良歴史同好会
特定非営利活動法人清爽力

9時 開会

小林市民活動推進課長

皆さま、おはようございます。

本日は大変お忙しいところ、大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員会の令和3年度第2回会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、大垣市市民活動推進課長の小林でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員会委員の皆さまには、昨年の7月から2年間委員として大垣市の市民活動育成支援に対しご助言を賜りますが、新たにご就任いただきました委員の方もいらっしゃいますので、委員会の概要についてご説明させていただきます。

大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員会は、市民活動の育成支援に関しまして、調査、審議及びご助言をいただくため設置されたものでございます。

具体的には、大垣市に登録のある市民活動団体が、広く市民を対象とした事業を実施する際に、市が資金の援助を行う「市民活動助成制度」、市が募集テーマを示して団体や学生から企画提案を募集し市民協働で実施する「市民提案事業」「学生提案事業」というものがございますが、採択を決定するにあたり、団体を育成、支援するという観点から、委員の皆さまからご意見をいただいております。

今年度の事業の募集は昨年の2月から3月に行っており、採択を決定し、4月から実施してきた事業につきまして、本日、事業報告を行います。

それでは、今回の会議は、新しい委員の皆さまでの初の会合となりますので、はじめに、

委員の皆さまを紹介させていただきます。恐れ入りますが、お名前を呼びしましたら、その場でご起立いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、委員の皆さまのお名前等につきましては、お手元に名簿を配布してございますので、ご確認いただければと存じます。

※小林市民活動推進課長：名簿順に出席委員の名前を読み上げ

なお、本日は、蒲田委員と細井委員からご欠席のご連絡をいただいております。

皆さまの任期は、令和3年7月1日から令和5年6月30日までの2年間となります。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、市民活動部長の杉田からごあいさつを申し上げます。

※杉田市民活動部長：あいさつ

小林市民活動推進課長

本日は、委員委嘱後の初会合でございますので、委員長が決まるまで、私が進行役を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

次に、次第の2「委員長及び副委員長の選出について」でございます。委員会運営規則により、委員長及び副委員長は委員の互選となっておりますが、どのような方法で選出させていただいたらよろしいでしょうか、お諮りをしたいと存じます。

杉田委員

委員長には、今まで委員長をお願いしておりました菊本委員に、副委員長は、委員長指名でいかがでしょうか。

小林市民活動推進課長

ありがとうございます。ただいま、杉田委員からご提案がありましたが、いかがでしょうか。

※委員：異議なし

小林市民活動推進課長

ありがとうございました。それでは、ご提案いただきましたとおり、委員長は、菊本委員をお願いしたいと存じます。

ご賛同いただければ、拍手でご承認いただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

します。

※委員：拍手

小林市民活動推進課長

ありがとうございます。それでは、菊本委員長から一言ごあいさつをお願いしたいと存じます。

※菊本委員長：あいさつ

ありがとうございました。それでは、以降の進行につきましては、菊本委員長をお願いいたします。

菊本委員長

それでは、議事を進めさせていただきます。

次に、副委員長の選出でございますが、委員長指名ということでございますので、私から指名させていただきます。

副委員長には、今まで副委員長をお願いしておりました吉田委員をお願いしたいと存じます。ご賛同いただければ、拍手でご承認いただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

※委員：拍手

ありがとうございました。吉田委員、どうぞよろしくお願いいたします。

次に、本日の会議録署名者を決めたいと思います。秋山委員、お願いできますでしょうか。

※秋山委員：了承

それでは、早速ですが、事業報告にまいります。報告は、事前に配布させていただきました資料に従いまして、進めさせていただきます。

資料でございますが、次第、事業一覧、事業報告の資料No.1から資料No.16までとなります。資料の不足がありましたら、係員にお申し付けください。

各団体とも5分以内で事業報告をお願いし、その後、委員の皆さまから質疑をいただきたいと思います。委員の皆さまにおかれましては、団体育成の見地からも、報告に対する

忌憚のないご意見やご質問をよろしくお願いいたします。

はじめに、初めの一步助成の報告をいただきたいと思います。

資料No.1、大垣市視聴覚教育連絡協議会の「市民ボランティア活動を『見て！知って！参加しよう！』」事業です。

それでは、大垣市視聴覚教育連絡協議会さん、よろしくお願いします。

※大垣市視聴覚教育連絡協議会：事業報告書に基づき発表

菊本委員長

ありがとうございました。それではただいまの報告につきまして、委員の皆さまから、ご質問やご意見等ございましたらお願いします。

市来委員

動画は、対象となった団体の方と一緒に撮影や編集をされたのでしょうか。

大垣市視聴覚教育連絡協議会

はい、撮影の対象は6団体で、6つの部会で構成されている大垣市ボランティア連絡協議会の構成団体から選定しました。映像ですので、肖像権の問題があり、撮影ができなかった団体もあり全ての部会からは参加していただけなかったのですが、ボランティアの原点である点訳や手話の団体等を選定し取り上げさせていただきました。

撮影が始まるまでに、各団体とは打合せをしました。また、大垣市社会福祉協議会の担当の方やボランティア連絡協議会の会長さんとも打合せし、団体の活動状況などの情報を得て撮影団体を選定しました。各団体さんには、動画作成する上で、特に、活動の面白みをいかに表現するか、PRしたいポイントについて分かりやすく伝わるようにしてほしいなどをお願いし、どの団体も構成が同じ方向性になるようにしました。

市来委員

ご説明の最後にもあったように、今後、各団体のPRに活用するため、動画を各団体の方が自分たちで新しいものを作っていけるようにするとよいのではないかと思いますので、各団体の方に手法を伝えていただけるとさらに発展できると思います。今年は6団体ですが、これからいろいろな団体がPRできるとよいと思います。

菊本委員長

ありがとうございます。見させていただいた映像は、とても分かりやすく、映像で伝わ

りやすいものになっており、団体のPRに活用いただけるものとなっていると思います。
また、アンケートにもありましたとおり、ボランティアフェスティバルで上映されたり、
入会希望者に見ていただくなど、今後、様々な場面でご活用いただけるものだと思います
ので、ボランティアの普及に役立てていただければと思います。

以上で、大垣市視聴覚教育連絡協議会さんの報告を終わらせていただきます。どうもあ
りがとうございました。

続きまして、資料No.2、konoteーコノテーの「親子の会話が楽しみになる！心をつなぐ
コミュニケーション講座」事業です。

それでは、konoteーコノテーさん、よろしくお願いいたします。

※konoteーコノテー：事業報告書に基づき発表

菊本委員長

ありがとうございました。それではただいまの報告につきまして、委員の皆さまから、
ご質問やご意見等ございましたらお願いします。

杉田委員

コロナ禍の中、複数回の開催にご尽力されましたことに対しまして敬意を表したいと思
います。要望でございますが、1つは第3回目のZoom講座の参加者が0人で未実施というこ
とでしたが、コロナ禍がいつまで続くか分かりませんが、Zoom等のオンラインをぜひ取
り入れていただけるとよいと思います。また、2つ目は、基本的に土曜日の開催となっ
ていますが、第何土曜日と定着していますと、事業が認識されていくかと思いますので、
この2点について工夫していただけるといいと思います。

新田委員

大変いい内容の事業だと思いました。講座の内容をみると、参加されると非常にプラス
になるものだと思個人的には思いますが、参加人数について、コロナの影響を受けて参加者
が少なかったのかなと思いたいのですが、それだけではなく、開催日の検討や、子どもが
親と一緒に参加してとても楽しそうだった、また行きたいという反応があると、親も定期
的に行こうかなと思ってもらえると思います。託児の内容がすごくポイントになってくる
と思いますので、ご検討いただけると参加者が増えていくのではないかと感じました。

Konote-コノテ-

ありがとうございます。開催日は、小中学校の土曜授業の日に合わせて開催させていた

だきまして、小学生の親さんは少し参加しづらかったのかなと思います。そこが参加者を減らしてしまった要因かと考察しています。また、遊び場については、別団体ですが、午後にプレーパークを実施していきまして、小学生の遊び場をつくるという形をとっていたのですが、開催曜日を固定していくと参加しやすいかと思いますので、ぜひ参考にさせていただきます。

菊本委員長

こうして年間を通じて開催いただいて、本当に敬意を表する次第です。数字だけ見ると参加者の方が少なかったという印象を受けますが、開催日の工夫というところはすでに検討いただけたということですので、次年度以降もぜひ事業継続していただいて、子どもたちの拠り所であり、お母さんたちの拠り所にもなるような、そういった機会の提供をぜひ続けていただきたいと思います

以上で、konoteーコノテーさんの報告を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

続きまして、資料No.3、多良歴史回廊案内の会の「上石津多良の中世山城跡を巡ろう」事業です。

それでは、多良歴史回廊案内の会さん、よろしくお願いいたします。

※多良歴史回廊案内の会：事業報告書に基づき発表

菊本委員長

ありがとうございました。それではただいまの報告につきまして、委員の皆さまから、ご意見やご質問等ございましたらお願いいたします。

杉田委員

日頃の忙しい活動に敬意を表します、最も大切なことは、観光資源の維持、管理にあると思います。それを、自治会の方を中心とした地域全員参加で、みんなでやっていこうという機運を地域で醸成されていることに対しまして、関係者の方に敬意を表したいと思います。大変な作業だと思いますが、特にこれから若い人のボランティアが育つような形で專業していただければさらに広がっていくと思いますので、がんばっていただきたいと思います。

多良歴史回廊案内の会

ありがとうございます。会員は57名おりますが、ほとんどが高齢の方々と、60代以下

の方は1名です。やはり、若い人に入っていただくことが大事ですし、それを継続していくことが必要だと思います。しっかり努めていきたいと思っています。ありがとうございます。

菊本委員長

ありがとうございます。ほかいかがでしょうか。

たくさんの応募があり、参加をお断りせざるを得なかったとのことで、なかなかコロナ禍で工夫が要求される場所ですけれども、若い世代の方に関心をもっていていただくきっかけとして、オンライン上での限定配信ですとか、既存のツールを使っていていただくなど、ご検討いただければと思います。ぜひ若い方にもご参加いただけるといいと思います。

以上で、多良歴史回廊案内の会さんの報告を終わらせていただきます。ありがとうございました。

続きまして資料No.4、musicA（ミュージックエー）の「親子で学べる音楽タイム♪」事業です。

それでは、musicAさん、よろしくお願いいたします。

※musicA：事業報告書に基づき発表

菊本委員長

ありがとうございました。それではただいまの報告につきまして、委員の皆さまから、ご意見やご質問等ございましたらお願いいたします。

吉田委員

臨機応変な対応をされており、非常に上手に運営されているという印象です。当日の対応を含め非常にご苦勞をされたかと思います。運営方法、電話対応なども含め、団体さんのノウハウが何らかの形で共有できると、他の団体さんにも役に立つのではと思います。それをまとめること自体も大変なご苦勞になるかと思いますが、ご報告を聞きまして、すごく手馴れていらっしゃる、大変上手に対応されていると思いました。他の団体さんにも伝えていただけるとよいと思いました。

musicA

ありがとうございます。機会があれば、ぜひそうさせていただきます。

杉田委員

この事業の成功の原点は、こういった事業を選択し企画されたことが一番にあると思

ます。ただ一方で、参加された方と参加できなかった方との公平性を維持していくことは大変だと思います。その点については、難しいかもしれませんが、これからもがんばっていただきたいと思います。

市来委員

YouTube配信など、色々と臨機応変に対応されていらっしゃるっており、私も大変感心したのですが、参加費を徴収されていて、3回目は急遽YouTube配信に変更されたとのことですが、収支決算書の備考欄に第3回目の収入の記載がありますが、どのように徴収されましたでしょうか。

musicA

こちらは、記載の仕方が分かりづらかったと思いますが、対面でのイベントが、8月、9月、12月と全3回ございまして、第1回目の8月の講座の応募者が殺到したため、日程を2回に分けて開催しましたので、8月8日と9月26日が第1回目の講座です。収支決算書に第3回と書いてある12月5日は、第2回目の内容の講座になります。2月に開催したYouTube配信の講座は、参加料は徴収しておりません。

市来委員

オンラインで事業を行う場合、参加費をいただくのはやはり難しいでしょうか。もし、可能なら、今後、反省にもあるように、現地で参加費をもらうだけではなく、事前に領収する方法があればできるとよいと思います。

菊本委員長

オンライン配信でも、参加料をきちんと徴収し、限定配信という形で行ってもいいと思います。500円という安価な設定ですと、手数料が発生するため難しいかもしれませんが、PeaTiXなどの既存のシステムを利用しながら、今後市民活動助成がなくなっても事業を続けていけるような仕組み作りを摸索していかれるとよいと思います。臨機応変に対応せざるを得ないような状況が続いていくことも考えられますので、そのようなことも取り入れていただければと思います。

musicA

ありがとうございます。参考にさせていただきます。

菊本委員長

以上で、musicAさんの報告を終わります。どうもありがとうございました。

続きまして、市民活動助成の報告に移りたいと思います。

資料No.5、国際音楽交流会Musica Con Tutti（ムジカ コン トゥッティ）の「おおがき国際音楽オンラインマスタークラス 声楽部門・器楽部門」事業です。

それでは、国際音楽交流会Musica Con Tuttiさん、よろしくお願いいたします。

※国際音楽交流会Musica Con Tutti：事業報告書に基づき発表

菊本委員長

ありがとうございました。それではただいまの報告につきまして、委員の皆さまから、ご質問やご意見等ございましたらお願いいたします。

菅田委員

大垣女子短期大学にチラシをお配りいただきましたが、チラシの配布時期が夏休み期間に入ってしまった、学生への周知が思うようにできず申し訳なかったと思っています。今後、継続の予定がありましたら、学生への周知は、メール等も利用して協力させていただきたいと思います。

国際音楽交流会Musica Con Tutti

ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。

杉田委員

若い人を対象としており、大変素晴らしい事業だと思います。今後は、大垣市の助成事業以外に、岐阜県や文部科学省などの賛助が受けられるかどうか検討していただいて、さらに進めていただければと思います。

国際音楽交流会Musica Con Tutti

今年度事業を行う中で、企業様にもご案内させていただきました。やはり、賛同いただける企業がありましたし、教育関係や地域で支援してくださるところを探し、お声かけしていきたいと思っています。

菊本委員長

他の支援の枠組みを受けることで助成金額も充実したものになるでしょうし、もっと多くの方に受講いただけることで続けていけるのではと思いますので、ぜひご検討いただきたいと思います。

以上で、国際音楽交流会Musica Con Tuttiの報告を終わらせていただきます。どうも

ありがとうございました。

続きまして、資料No.6、ゆっくり歩む音楽サークル奏音～カノン～さんの「虹色のハンドベルで楽しく奏でよう♪」事業です。

それでは、ゆっくり歩む音楽サークル奏音～カノン～さん、よろしくお願いいたします。

※ゆっくり歩む音楽サークル奏音～カノン～：事業報告書に基づき発表

菊本委員長

ありがとうございました。それではただいまの報告につきまして、委員の皆さまから、ご質問やご意見等ございましたらお願いいたします。

菅田委員

思っていたより幅広い年代の方がご参加されたということですが、運営の方法はどのようにされていましたでしょうか。

ゆっくり歩む音楽サークル奏音～カノン～

選曲については、初めは、小学校の教科書に載っている曲を考えていたのですが、大人の方でも楽しめる曲を取り入れました。参加された方に好きな曲を聞いて、次の講座までに楽譜を用意し、「上を向いて歩こう」や、「アメイジンググレース」ですとか、幅広い世代の方が楽しめる曲にしました。全7回の開催で全部で17曲くらいできましたので、すごく盛りだくさんにできたと思っております。

菅田委員

広報おোগきに掲載されたことで、年配の方からも申し込みがあったのかなと思います。今後の課題として、募集方法や申込方法についても工夫されると、若い方からも参加が得られるのではと思います。

ゆっくり歩む音楽サークル奏音～カノン～

ありがとうございます。参考にさせていただきます。

菊本委員長

コロナ禍での事業でしたけれども、事業の中でできなかった成果発表会を開催されるので、次年度以降も、工夫して実施していただければと思います。

以上で、ゆっくり歩む音楽サークル奏音～カノン～さんの報告を終わります。どうもあ

りがとうございました。

続きまして資料No.7、特定非営利活動法人F C ヴィオーラさんの「大人のための、楽しいスポーツ活動」事業です。

それでは、特定非営利活動法人F C ヴィオーラさん、よろしくお願いいたします。

※特定非営利活動法人F C ヴィオーラ：事業報告書に基づき発表

菊本委員長

ありがとうございました。それではただいまの報告につきまして、委員の皆さまから、ご質問やご意見等ございましたらお願いいたします。

新田委員

当初は、参加者の年齢層をあまりしぼっていなかったようですが、参加された方は高齢者層が多かったということで、今後はターゲットにされるということが反省としてあげられているので、ターゲットをしぼられることは、大変よいことだと思います。色々な年代の方がいらっしゃると、要求が年齢に応じて変わってきて大変だと思いますので、ターゲットをどの年齢層にするかをしぼっていただければと思います。

また、開催日について、今回の計画では月1回の設定にされましたが、大垣市体育連盟主催のスポーツ教室ですと、毎週決まった曜日、時間となっており、それを参考にされると思います。月1回しかない、毎週決まった曜日、時間にある教室を選ぶ方が多いと思いますので、開催日は検討されると思います。

また、報告書内に参加者の年齢構成のデータも記述していただくとよいと思いました。

特定非営利活動法人F C ヴィオーラ

はい、分かりました。ありがとうございます。

市来委員

参加費を徴収していますが、オンラインヨガの参加費は、どのように集金されたのでしょうか。

特定非営利活動法人F C ヴィオーラ

何回参加されるかにもよりますが、年間を通して参加していただけるかお尋ねし、月1回の開催ですと合計10回ありますので、まとめてお支払いいただいていた。事務所に直接支払いに来ていただいたり、銀行振り込みでいただいていた。振り込んでい

ただくと手数料がかかるので、参加の回数によっては参加費を上回ってしまうこともあります。

市来委員

オンラインで実施されるときに参加費の徴収方法について、他の方法がないか考えられるとよいかと思います。

特定非営利活動法人F C ヴィオーラ

PayPay等のオンライン決済システムもありますが、当団体には手がつけれなかったというのが正直なところです。

菊本委員長

先程のご意見にもありましたが、今後、助成事業を実施される場合は、報告書に参加された方の年齢構成を記載していただければと思います。また、年間を通じて参加された方も多くおられるかと思うので、そういった方からの参加の広がりを期待したいと思います。

以上で、特定非営利活動法人F C ヴィオーラさんの報告を終わります。どうもありがとうございました。

続きまして、資料No.8、特定非営利活動法人あすねこの「自分・家族・ペットの命を守る防災について考えよう！」事業です。

それでは、特定非営利活動法人あすねこさん、よろしくお願いいたします。

※特定非営利活動法人あすねこ：事業報告書に基づき発表

菊本委員長

ありがとうございました。それではただいまの報告につきまして、委員の皆さまから、ご質問やご意見等ございましたらお願いいたします。

吉田委員

近年ペットを飼われている方は非常に増えていると思いますので、ペットのことを色々考えていく試みは非常にいいと思います。一方で、ペットを飼っている人と飼っていない人の共存といいますか、避難所でペットを飼っている人と飼っていない人、ペットを同行するかしらないかなど、様々な問題があると思いますので、ペットを飼っている人だけでなく、ペットを飼っていない人への広報、啓発を行っていいと思います。

市来委員

私も同じ意見なのですが、大変いいテーマを選ばれたと思います。防災というテーマですと、高齢者や介護者の方たちも防災を意識されているし、環境教育、子どもたちと接しているような方、自治会で活動している方たちなどもそうですが、防災というキーワードで色々な所で活動している人たちにも、防災活動の中に、ペットも視野に入れてもらえるように、他の団体と連携するような場を探っていかれるとおもしろいのではないかと思います。防災だと自治会など、色々な集まる機会があると思いますので、そういうところに積極的に広報していただけるといいと思います。

菊本委員長

参加者の方の年齢の属性というのは、様々でしたでしょうか。高齢の方が多かったなどありますか。

特定非営利活動法人あすねこ

年齢では、50才前後の女性が多かったです。単独での参加が多く、思っていたよりご家族の参加が少なかったです。

菊本委員長

当初のねらいは、親子や家族の参加を対象にしていたとのことですが、もしかしたら、このテーマとしては、違う対象からニーズがあるのかもしれないと今回の報告を拝見していて思いました。先ほどのご意見にもありましたが、介護など色々な切り口がある中で、高齢の方が特に、ペットを家族と感じられる方が多いという印象を受けるので、そういった方が、実際に災害を受けてペットと引き裂かれたとき、心のケアが必要になってくるという視点で考えると、小さいお子さんもしくは親子ではなく、年齢層が高い方の方が、実際の災害の場面で考えるとニーズが高いのかもしれないし、考えなければいけないことなのかなと思いましたので、今後はぜひ、色々なターゲットを考えながら続けていただきたいと思います。

新田委員

協賛金を一般企業から得る努力をされたことは、大変よいことだと思いました。今後ぜひ続けてください。

特定非営利活動法人あすねこ

ありがとうございます。

菊本委員長

以上で、特定非営利活動法人あすねこさんの報告を終わります。どうもありがとうございました。

続きまして、資料№9、ふるさとから教育を語る会の「遊んで学ぼう！ふるさと大垣偉人かるた」事業です。

それでは、ふるさとから教育を語る会さん、よろしくお願いいたします。

※ふるさとから教育を語る会：事業報告書に基づき発表

菊本委員長

ありがとうございました。それではただいまの報告につきまして、委員の皆さまから、ご質問やご意見等ございましたらお願いいたします。

杉田委員

大垣の偉人をはかるたで紹介するという発想が素晴らしいと思いました。また、かるたという文化も廃れてしまっていて、その復活にもつながるもので、その復活を通じて、親子の絆が醸成されるといいと思いますし、それが全世帯に普及していくといいと思います。実際、私自身知らない偉人はたくさんいますので、また学び直したいと思っております。

吉田委員

私も何人かの偉人を存じ上げていますが、ほとんどは知らない方です。上田石灰製造株式会社の上田さんは、私の地元の方でして、どこの地域の方で、どういう風に活躍されたかなど、きっかけとなる知識のつながりがあると、より興味をもっていただけていると思います。自分が住んでいる地元とどういう関係があるかを知ると、かなり興味がわくと思いますので、そういうところまで広げていっていただきたいと思います。

ふるさとから教育を語る会

お二方から貴重なご助言をいただきありがとうございます。お配りした切り取り式のかるたの裏面に功績等の解説書を付けてあります。箱入りのかるたの方にも、同じ解説書を入れています。偉人の功績と自分との繋がりを見つけるとさらに興味がわくと思いますので、あわせて啓発していきたいと思っています。ありがとうございます。

菊本委員長

かるたの配布先は、教育機関が中心になりますか。

ふるさとから教育を語る会

はい、寄贈という形で配布させていただいたのは、教育機関ですと、小中学校全32校と大垣市図書館です。高齢者を対象とした地域のいきいきサロンなどの集まりの中で、かるた遊びをしてみたいというお声をいただいたこともありますので、今後は各地区の社会福祉推進協議会や老人クラブなどにも普及していければと思っています。

菅田委員

デイサービスなど高齢者の方がたくさん集まる場所や、子どもたちにも、幅広い世代で活用していただけるとよいと思います。

菊本委員長

吉田委員からもご意見がありましたが、自分が生まれた地域にどういう偉人がいるのか、各地区にこんな偉人がいるということを知ることから、地域の歴史に関心を向けるきっかけにもしていただけたと思います。

新田委員

申請されたときは、かるたを製作されることはどうなのかなと疑問に思っていたのですが、出来上がったのを見ますと、絵と文字がとても素敵です。大垣女子短期大学の学生さんに依頼された絵と書家の方の文字がとてもよいと思いました。あと、収支決算書の中にクラウドファンディングで集まった実績額を参考に記述していただけたのではと思いました。

菊本委員長

ありがとうございます。ほかよろしいでしょうか。

以上で、ふるさとから教育を語る会さんの報告を終わります。どうもありがとうございました。

続きまして、資料No.10、OSアンサンブル風の「コロナ禍下『心の便り』ビデオで応援しよう」事業です。

それでは、OSアンサンブル風さん、よろしくお願いいたします。

※OSアンサンブル風：事業報告書に基づき発表

菊本委員長

ありがとうございました。それではただいまの報告につきまして、委員の皆さまから、

ご質問やご意見等ございましたらお願いいたします。

杉田委員

高齢者の方に寄り添った活動をしていただきましてありがとうございます。故郷の風景がでてきて非常に感動したということがアンケートにありましたけれども、出演された方の色々な演技もよろしいのですが、例えば色々な地域の風景だとか、それから大垣まつりの様子などを交えて工夫されたことは、大変よかったと思います。

OSアンサンブル風

ありがとうございます。実際、赤坂地区で行われています和宮行列の写真とか、市内の史跡や名勝を背景に入れてあります。踊りの場合は難しいですが、歌の場合は様々な写真を背景に入れて音を流すなどしました。ぜひこれからもそのような手法を取り入れたいと思います。

菅田委員

それぞれの活動のビデオの中に、団体の紹介も言葉として入っているのでしょうか。

OSアンサンブル風

各団体の方に言葉で話しをしていただきました。文字だけでは、なかなか伝わりにくいので、口頭で言っていただくようにしました。

菅田委員

そのような心のこもった言葉が、ボランティアで次は施設に来ていただきたいというリクエストにつながったのだと思います。認知症の高齢者の方の回想法のビデオを見たことがあるのですが、普段のテレビ番組のような場面が早く切り替わるような忙しいものではなく、すごくゆっくりしたもので、固定の場面で映像を流し、ゆったりしたペースが、施設の方には見やすくよかったのではと思いました。

市来委員

大変よい活動だと思いました。実際コロナの前は施設に出向かれていらっしゃったのを、コロナの中で何かできることはないかということで考えられたアイデアで、おそらく普段だと訪問できる施設が限られているかと思いますが、それ以上の多くの施設に見ただけの機会になったと思います。また、今後活動を続けていかれるためには、寄付金や協賛のような形で、施設からいくらかいただけるとよいのではと思います。

OSアンサンブル風

ありがとうございます。施設の方から多少いただいてもいいかなと思っていても、こちらからは申し出ることがなかなか難しいですが、1か所あたり少しづついただければ、DVD代などに充てられるかと思いますので、その点は工夫していければと思います。今まで自分たちで訪問していたのは10か所くらいでしたが、それが70か所ほどになりました。アンケートの返答があり、またこのようなDVDが欲しいというところは40件くらいでした。施設によっては忙しくてアンケートの回答がなかなか書けないところもあり、施設の状況によって違うと思いますが、これからもぜひ続けていきたいです。

市来委員

協賛金という形でもらえるといいのではと思います。呼びかけ方としては、DVDの郵送代や製作費もありますので、協賛金としていくらかいただけないでしょうか、とお願いをされるといいと思います。

OSアンサンブル風

当初の計画では送り先は70か所でしたが、新聞掲載の効果もあり8か所程増えたので郵送料などの費用が増えたこともありました。助成の範囲に収まるようにしました。

菊本委員長

ありがとうございます。助成事業は上限が決められてしまっている状況の中で、コロナ禍の中でむしろ活動が広がりをみせているので、市来委員からもありますが、協賛を施設から少しいただいたり、賛同いただけるような企業からの支援をいただくなど、今後運営方法を模索していただきながら、ぜひ続けていただければと思います。

以上で、OSアンサンブル風さんの報告を終わります。どうもありがとうございました。

続きまして、資料No.11、特定非営利活動法人クローバ西濃支部の「まずは、わたしが持続可能に！ピンクリボン運動から予防の大切さを伝えよう」事業です。

それでは、特定非営利活動法人クローバ西濃支部さん、よろしくお願いいたします。

※特定非営利活動法人クローバ西濃支部：事業報告書に基づき発表

菊本委員長

ありがとうございました。それではただいまの報告につきまして、委員の皆さまから、ご質問やご意見等ございましたらお願いいたします。

吉田委員

活動を女性の健康全体の方にもっていかれるとすると、対象年齢が変わってくる気がします。活動の仕方や内容だとか、どういう機会にどう情報提供をするかも含めて、チャレンジのし甲斐がある活動だと思いますので、すでにもちろん考えていらっしゃると思いますが、その辺りの活動の仕方を今後検討していただけるといいと思います。

特定非営利活動法人クローバ西濃支部

はい、ありがとうございます。

杉田委員

事業のコンセプトである健康や予防の大切さを、ピンクリボン運動を通して伝えていただいたものですが、この事業名の最初にある「まずはわたしが持続可能に！」というフレーズは大変素晴らしいので、変えていただかないほうがよいと思います。その後ろに、何々としていただくようにされたらいかがかなと思います。

特定非営利活動法人クローバ西濃支部

はい、その予定です。現在2030年に向けてSDGsの推進に取り組んでいく中で、当法人の活動も、持続可能にならないと意味がないということで、自分のところの法人の活動のキャッチコピーでやっていこうと作っていたのですが、ちょっと堅苦しいかなと思い、「わたしのこれからはわたしがつくる」というキャッチコピーに変えました。環境問題や子育て問題という色々な問題に取り組む前に、自分が健康で、その活動に取り組めるように、持続可能な身体をつくっておくことが大切だと思いましたので、この時思いつかず少し小難しい言葉にしましたが、これを褒めていただいて本当にうれしく思います。

菊本委員長

1点伺いたいのですが、先程岐阜市のマーサでもイベントをされたと出ていたのですが、動画を作られるにあたって、マーサでの事業の10月3日分と大垣での事業用のそれぞれ両方の分を作られたのでしょうか。

特定非営利活動法人クローバ西濃支部

両方同じ動画です。それについては、予算も分けられています。実は、マーサの事業には動画が間に合わなかったのが、トークをメインに行いました。制作した動画が6本そろったのは、大垣のイベントのときでして、大画面のテレビを用意してもらい、会場で動画を流しました。

菊本委員長

今後、色々な所でご活用いただければと思っています。法人の西濃支部として活動いただいているが、大垣市内に限らない非常に幅広く活動をされている団体さんだと思いますので、ぜひ今後も色々な所でのご活躍を期待しています。

以上で、特定非営利活動法人クローバ西濃支部さんの報告を終わります。どうもありがとうございました。

続きまして、資料No.12、九里半歴史文化回廊の「平井発電所発掘と資料展示会で地域おこしとSDGs勉強会」事業です。

それでは、九里半歴史文化回廊さん、よろしくお願いいたします。

※九里半歴史文化回廊：事業報告書に基づき発表

菊本委員長

ありがとうございました。それではただいまの報告につきまして、委員の皆さまから、ご質問やご意見等ございましたらお願いいたします。

杉田委員

貴重なまちおこし活動をありがとうございました。特に、考古学の発掘にも似た水路跡の掘り起こしの活動等、夏の暑い時期にやられまして大変だったかと思います。活動をされましたボランティアの方々に敬意を表したいと思います。ただ、コロナ禍のため展示会が開催できなかったとのことですので、平井発電所の更なる発信のために、なんとか展示会活動ができる形で今後計画をしていただければと思います。

九里半歴史文化回廊

ありがとうございます。実は、来年度事業の計画はしており、助成事業の申請もさせていただいておりますが、来年度は展示会を開催したいと思っています。今年度も展示会を計画しており、パンフレットに掲載してある写真や資料を展示する予定でしたが、資料収集を進めていく中で様々な資料が出てきましたので、もう少し中身の濃いものを計画しております。中部電力さんに非常にご協力をいただいております、すでに3回以上打ち合わせを済ませておりまして、色々なところで事業協力をいただけるということですので、ぜひ来年度実現したいと思っています。

吉田委員

個人的に大変興味がある内容ですので、まだご訪問できていませので今後ぜひ行って

みたいと思いますが、色々な方が、色々な視点で興味をもたれると思いますので、技術的な興味もあるでしょうし、地域の伝統に対する評価ですとか、色々な視点があると思いますので、当時施設が建設され上石津地域にどういいう変化があったのか、地域ごとの産業の歩みなど、展開の仕方は色々あると思いますので、ぜひ活動을続けていただき、そのようなものも見せていただけるといいと思います。

九里半歴史文化回廊

展示会の方で、そういった視点で展示をしたいと思い現在計画しています。牧田の発電所だけではなく、建設された当時の大正12年あたりのこの地方の電力事情に関わる資料もだんだん集まってきましたので、そういったものも展示したいと思っています。開催したときにはお越しいただければと思います。ありがとうございます。

また、昨年4月の審査会で事業説明をさせていただいた際に、子どもたちにも向けた事業にしてほしいとご助言をいただき、私たちも努力しましたが、発電所跡散策ウォーキングの参加者195名のうち、子どもたちの参加は14名で少し寂しいということでございます。しかしながら、中山間地ですので、言葉は悪いですが、子どもたちが取り合いになってしまいます。塾もあれば少年団もあり、とくにスポーツ少年団ですと、今、5、6年クラスの試合に3、4年生も入れないとチームが成り立たない状況なので、そうしますと、1人が欠けますと大変なことなので、そちらを優先しますし、色々な意味で子どもたちに負担がかかっています。こういった街中ですと、1人欠けてもさほど影響はないと思いますけれども、我々の地域はそういう状況ですので、大変苦勞しましたが、学校へも直接参加をお願いに行きましたが、なかなか難しかったです。この経験を来年度ぜひ活かしたいということで、今までは待ちの状態でしたが、今後は積極的に子どもたちのいる場所へ出かけていき、この活動をしたいと思っています。

市來委員

今のお話に関連して、多分もう学校にも訪問されているかと思いますが、ぜひ、学校の授業の総合学習の時間や、地域のことを学習する時間があると思いますので、コロナで学校の中に外から入れないときもあるかと思いますが、そういう時間をもらって、まずは発表されてみるのもひとつではないかなと思いました。参考にしてください。

九里半歴史文化回廊

はい、ありがとうございます。私たちの活動を始めて12年経っていますが、九里半回廊を中心とした会でございますので、小学校4年生対象に出前講座をやらせていただいていますし、1、2年生合同で小学校の近くを歩きながら説明するという授業も手伝わせていただいています。来年は中部電力の電気の科学館の学芸員の方に来ていただく特別授業

の打合せを進めているところでございます。

菊本委員長

ありがとうございました。次年度もすでに事業申請いただいているということですので、またその折にも審議させていただきたくたいと思います。

以上で九里半歴史文化回廊さんの報告を終わります。どうもありがとうございました。

続きまして、資料No.13、多良歴史同好会の『多良の歴史・物語』普及活動推進事業」です。

それでは、多良歴史同好会さん、よろしくお願いいたします。

※多良歴史同好会：事業報告書に基づき発表

菊本委員長

ありがとうございました。それではただいまの報告につきまして、委員の皆さまから、ご質問やご意見等ございましたらお願いいたします。

吉田委員

私自身、多良峡へ子どもの頃にキャンプに行きましたので、多良という地名はそれなりに身近に思っていました。今、多良という地名がなくなるかもしれないと聞いて大変驚いているのですが、冊子の編纂は大変苦勞されたかと思います。立派な書籍ができて、まずは一安心だとは思いますが、この冊子をどのように活用していくか、活動の中で使っていくか、他の方にどのように届けていくか、色々な普及の仕方があるかと思いますので、継続的に活動をしていただければなと思います。

多良歴史同好会

はい、これをこのままにするのではなく、大いに活用していきたいと思っています。多くの方に多良を知ってもらい、多良を訪れていただきたい。そのためには、観光案内のボランティアの会もありますので、いつでも問い合わせしていただければ、皆さんに史跡をご案内させていただき、少しでも多良を知って頂く、これしかないと思っています。

菅田委員

こちらを600冊作成されたということですが、事前予約分450冊もの受注があるとのことですので、すでにほとんど在庫がないようですね。

多良歴史同好会

はい、そうなんです。今のところ100冊程余裕ありますが、毎日問い合わせがありますので、間もなく在庫がなくなるのでは、そうするとまた増刷を考える必要があると思っています。また、歴史講演会を計画しましたが、講演会を予定していた会場が、ワクチン接種会場になったこともあり、残念ながら中止としました。来年は講演会をなんとか開催したいと思っていますし、今後も普及に努めていきたいと思っています。

菅田委員

1冊1,000円という販売価格は、ほぼ原価ですので、増刷される場合は、作れば作るほど費用がかかりますので、販売価格を考えられた方がいいと思います。

多良歴史同好会

はい、確かに助成金を見込んでの価格としていますし、市民の方へのサービスと考え原価と変わらない価格にしておりますが、増刷する場合は、色々と知恵を出していきたいと思っています。

菊本委員長

少し見させていただいたのですが、大変関心をもちました。私も勉強させていただきたいと思っていますので、今後色々な形でご活用いただければと思います。

多良歴史同好会さんの報告を終わります。ありがとうございました。

以上をもちまして、「市民活動助成」の報告を終わります。

続きまして、市民提案事業の報告に移りたいと思います。

資料No.14、特定非営利活動法人清爽力の「施設の感染症対策～正しく理解しリスク軽減～」事業です。

それでは、特定非営利活動法人清爽力さん、よろしくお願いします。

※特定非営利活動法人清爽力：事業報告書に基づき発表

菊本委員長

ありがとうございました。それではただいまの報告につきまして、委員の皆さまから、ご質問やご意見等ございましたらお願いいたします。

吉田委員

非常に有効で貴重な事業だと思います。ウイルスの種類も変異株が出現し変化が激しい

と思いますが、消毒方法等、今まで通り同じ対策でよろしいのでしょうか。

特定非営利活動法人清爽力

流行はデルタ株に続き、オミクロン株に変わってきていますが、重症化率は低いものの、感染力は4倍です。施設等の現場に2年間で百何十回出向いていますが、亡くなられた方はデルタ株が流行したときは2名ありました。今オミクロン株が主流になりましたが、消毒の仕方は全く一緒です、私たちが消毒に行かなくても、講座を受けることで自己防衛できます。各施設の消毒能力を上げれば、自分たちで十分自己防衛でき、感染力は強いですが、重症になる確率も低くなります。高齢者にとっては、必要以上の消毒はした方がいいです。講座に行った施設で、1週間後に陽性者が出ましたが1名で食い止めたという実績もありました。消毒自体は継続して、ただ同じことをやり続けることのみが予防につながるということです。

吉田委員

今後も変異株が出てきたときには、ビデオを見られた方が、この方法でいいのだろうかと不安に思われるかもしれませんので、その辺りのフォローまでしていただければと思います。

菊本委員長

動画を作って終わりではなく、その後のフォローもしていただくとよいと思います。この事業の必要性は常に継続してあるのだなと改めて感じました。

市来委員

作成された動画が市のホームページに掲載されているとのことですが、各施設に配布されたDVDと同じ内容なののでしょうか。

特定非営利活動法人清爽力

はい、同じ内容です。

市来委員

そうすると、ホームページを見ればもっと多くの施設に見てもらえると思いますので、ぜひ広めてもらえたらと思います。せっかく市のホームページに掲載されたのであれば、多くの方に見ていただけるとよいと思います。

菊本委員長

ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。まだまだこの状況が続く中で、市民の皆

さんにとって大変心強い活動だと思いますので、今後もいろいろな所でご協力いただければ光栄です。

以上で、特定非営利活動法人清爽力さんの報告を終わります。どうもありがとうございました。

続きまして、学生提案事業の報告に移りたいと思います。

資料No.15、大垣日本大学高等学校の「高校生俳句交流大会」事業です。

こちらの事業につきましては、事務局から報告をお願いします。

※事務局：事業報告書に基づき発表

菊本委員長

ありがとうございました。それではただいまの報告につきまして、委員の皆さまから、ご質問やご意見等ございましたらお願いいたします。

市来委員

参加高校が、コロナの影響で少なかったとのことですが、せっかくいい事業ですので、もっと多くの学校に参加いただけるとよかったかと思います。コロナがどれだけ続くか分かりませんが、対面で対局することが難しければ、それこそ、別の事業になりますが、国境を越えてオンラインでつながるものもございますので、県内の高校だったら、オンラインで充分参加いただける高校があるのではと思いますので、考えていただければと思います。

國枝市民活動推進課主幹

この大会も、オンラインでやる必要があるかどうか検討しました。時期的に開催することができたということもありますが、実際に対戦の雰囲気味わっていただけるようリアルに開催する形をとりました。オンラインも高校生はかなり慣れていると思いますので、オンラインという手法も取り入れながら広くできるといいかなと思っています。

吉田委員

私自身、俳句に触れる機会があまりないのですが、俳句甲子園のように、事業継続的にされるといいと思いますが、来年度の計画はありますでしょうか。

國枝市民活動推進課主幹

はい、高校は実際先生次第というところがございまして、ちょうど、大垣日本大学高等

学校、大垣商業高等学校や大垣北高等学校には、指導いただける先生がみえたのでよかったのですが、市内の他の学校にはあまり指導者はいないため、県内に広められるかが課題となります。奥の細道むすびの俳句協会の方が学校に指導に行かれることもありますので、市として、俳句の普及は重要なところですので、その方たちに学校に指導に行っていただくなど、少しでも俳句人口を増やしていけるような取り組みができると思っています。過去には、大垣工業高等学校へ俳句協会の方たちが指導に行かれ、俳句の技術がすごく伸びたということがあったので、そのようにやっていければと思っています。

菊本委員長

ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。俳句というのは、大垣としてはキーワードのひとつになっていると思いますので、俳句甲子園につながるような事業ができると思います。ぜひ、オンライン開催も含め今後ご検討いただければと思います。

以上で、大垣日本大学高等学校の事業報告を終了させていただきます。ありがとうございました。

続きまして、最後の報告になります、資料№16の市民活動団体設立助成について、事務局よりご報告をお願いいたします。

※事務局：事業報告書に基づき発表

菊本委員長

ありがとうございました。ただいまの報告につきまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。

吉田委員

市民活動団体設立助成については、活動を始められた団体への助成ということですが、今回報告のあった市民活動助成事業と連動はしているのでしょうか。

國枝市民活動推進課主幹

特に連動はしていません。

菊本委員長

ぜひこれらの備品を活用して、市民活動助成事業にも応募いただきたいと思います。それでは、以上で事業報告は終了します。ありがとうございました。

それでは最後の「その他」でございますが、全体を通して何かございましたら、ご発言をお願いいたします。よろしいでしょうか。

宮上委員

はじめて出席させていただきました。色々な活動があるので大変感心しました。気になったことですが、ボランティア参加者が集まらないというご意見がありましたが、時代的には団塊の世代の方々が時間に余裕がきる人材が増える時期かと思うのですが、コロナもあり難しいかと思いますが、そのあたり工夫が必要なのではと思いました。

それから、事業実績を見ますと、地域的な偏りがあるように思います。同じく大垣市に合併した上石津地域が3,4件、墨俣地域が0件であり、これはどういうことかなという印象を受けました。

また、就任説明があった翌日の新聞で、大垣市の団体の補助金不正問題という記事を偶然読みました。東海タナゴ研究会という団体で、県の補助金制度でしょうか、ある会社へ会計を委託していたら、その会社がなくなったということがあったそうです。直接の担当は海津市と養老町のようなのですが、ご存知かもしれませんが、そのようなことがあるということ参考までにお話しいたします。

國枝市民活動推進課主幹

墨俣地域につきましては、今年度の採択事業のうち2事業が実施できなかったという報告をさせていただきましたが、2事業のうち1事業が墨俣地域の団体でした。芸術関係の事業でしたのでコロナ禍では事業が2年間実施できなかったのですが、申請はございました。最後の東海タナゴ研究会については、新聞でしか内容は把握していませんが、大垣市の助成事業の審査につきましては、すべての領収書を徴取し、内容をチェックしていますので、助成金が適正に使われていることを確認させていただいています。

菊本委員長

先程の東海タナゴ研究会については、県の補助金を活用され、主に海津市で活動されていました。比較的若い方を中心に活動されていましたが、非常に残念でした。

それから、ボランティア参加者が少ないという話について、どの団体も課題になっていることですが、2000年前後の市民活動やボランティア活動が盛り上がり、定年退職された方の活躍の場として求められていた時期があったのですが、今は定年が延長され、人口が減り若い世代が減っているにも関わらず、50代、60代の方などはボランティアに時間をさける方がだんだん少なくなっているという実態が明らかになってきています。全国的な課題でもありますが、数を広げようとしていたところを、どのように効率的に、効果的にやっていくのかが課題だと思います。必要があれば、みなさんで議論させていた

だければと思います。

菊本委員長

ありがとうございました。その他いかがでしょうか。

特にないようですので、これをもちまして、議事を終了させていただきます。

吉田委員

参加費の徴収をオンラインでできれば、手数料がかからずに利用できるものもありますので、そのようなツールを調べることも含め、行政から一括した情報を提供できると思います。

國枝市民活動推進課主幹

行政でも調べて情報提供できればと思います。他の団体で導入している団体もありますので、情報収集しながら、各団体で調べてもらうのではなくこちらから情報提供させていただければと思います。

小林市民活動推進課長

皆さま、非常に長時間に渡りありがとうございました。

これをもちまして、大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員会 令和3年度第2回会議を終了させていただきます。次回の開催でございますが、4月16日の土曜日の午前中に、令和4年度事業の審査会を開催させていただく予定でございますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上で終了させていただきます。本日はご出席いただき誠にありがとうございました。

12時40分 閉会

以上、会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

委員長 菊 本 舞

委 員 秋 山 聖 子